

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

中学卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp>

☎ 277-0033 千葉県柏市増尾 700 番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和4年3月19日

印刷所 株横浜綜合写真

自覚と責任

— 21 期生卒業 —

2021年度芝浦工業大学柏中学校卒業式告辞

— 学校長 野村 春路 —

失敗について

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう。保護者の皆様、本日はおめでとうございます。本校は、芝浦工業大学の歴史と伝統を踏まえ、1980年にここ柏市増尾の地に創立され、1990年に男女共学とし、1999年に中学校を併設して今日に至りました。これまで柏中学校は3,400名を超える卒業生を輩出し、みなさんは中学21期生として、その仲間入りをする日を今日迎えました。

さて、ここでは「失敗とは」ということについて、話してみたいと思います。

一般に人は失敗を恐れます。できれば失敗しない方が良いように思えますし、失敗については他人の目が気になり恥ずかしいと感じることが自然ですから、この点が失敗におびえる要因かもしれません。では失敗をしないようにするためには、どうすればよいのか。この問題を突き詰めて行きますと、「失敗をしないためには、行動をしないのが一番」というように考える人も出てくるでしょう。しかし、それは誤った考え方です。本当の失敗とは「何もしないこと」かもしれません。何もしなければ、何も起きないので、何も得られない。行動しなければ、経験も積みません。様々なことに挑戦し経験をした者こそ、変化の時代に対応できるようになりますから、何もしないことこそが失敗なのだと思うのです。

そうです、今私たちは大きな変革期の中にいます。

これから私たちが生きて行く時代は、刻々と変化し、少なくとも10年前とはまったく違う様相を示し、このところますます先が見通せない状況が生まれています。それは人々の生活を左右する要因が増え、その上その要因の変化の振れ幅が大きくなって来ているからです。つまり、変数が多くなりその変域も大きくなっているということです。

ここで言う変数とは、どのようなものなのか、例えば、地球環境の変化です。生態系の変化、温暖化による台風やゲリラ豪雨の頻発、地震や火山の噴火による自然災害、そして新型コロナウイルスのような世界的な感染症の拡大。人が引き起こすものとして、国際情勢におけるロシアとアメリカ、あるいは

アメリカと中国の対立など各地の対立が紛争・戦争に繋がり、さらに拡大する可能性がある。社会的には全世界的に起こっている貧困と格差の拡大、それから生まれる政治的な混乱や共同体社会の解体。世界はグローバル化して密接に繋がっていますので、世界のどこかで起こった様々な問題は、すぐに日本に波及して影響を与えます。原油価格や半導体の供給、食糧自給などすぐに思い当たる事例がいくつもあると思います。

このように変数が多く先行き不透明になってきていますので、過去の方法・マニュアルは参考程度にして、まずは目の前の課題やテーマにトライすること、それも自分のペースでトライしてみることです。それにより得られた知見や経験が次の段階に進んで行く上で、重要な観点になるはずですが、この意味で実行する中での失敗を恐れるのではなく、挑戦しないことが失敗であると考えてください。

さらに続けますと、中学を卒業してこれから自分で課題やテーマを見つけ、その解決に向って進んで行く過程で起こるミスやエラーは誤りではありますが、失敗とは考えなくて良いと思います。誤りは失敗ではない。一回の誤りから学び、次に向うために修正して、継続的に取り組んで行けるからです。ですから、誤りは失敗ではない。

この点をお互いにはっきり認め合えば、課題や問題に真剣に取り組んでいる他者のミスやエラーを笑うようなつまらない人間になることはないであろうし、本来は様々な人々と協働して、お互いが試行錯誤しながら人類の難題に立ち向かって行くような風通しの良い集団になることが可能であると思います。

中学の卒業式にあたり、誤りは失敗ではない、行動しないことが失敗である。そのような失敗をしないために自分で決めた何かの課題やテーマに挑戦してください。みなさんがこれからの未来に向かう心構えについて、お話しをしました。

最後になりますが、残念ながら卒業式にご列席いただけない皆様、すなわちPTAの関係者や同窓会の皆様には、この『増穂だより』を通じて、今後とも本校発展のために、お力添えくださいますようお願い申し上げます。

目次

学校長告辞 / 式次第	1 P
表彰 / 校歌	2 P

- 一、閉式の辞
- 一、卒業生代表の言葉
- 一、卒業生代表の言葉
- 一、在校生代表の言葉
- 一、賞状賞品授与
- 一、卒業証書授与
- 一、開式の辞



創立者有元史郎記念賞・優等賞

D組

私がこの賞をいただいたと聞いたとき、とても驚きました。なぜなら、私にはない長所を持つ人が周りにたくさん居るからです。でも、その人たちについていこうと、計画立てて勉強したり授業や行事に積極的に参加したりと3年間頑張ってきたことを評価していただいたのかなと思い、とても嬉しかったです。高め合うことのできた友達や、とても充実した授業をしてくださった先生方、そして日々の生活を支えてくれた家族に感謝を伝えたいです。高校でももっと努力して、この賞に恥じないよう、勉学や私生活に励んでいきたいと思っています。

千葉県私立中学高等学校協会賞・優等賞

D組

授業・部活動・学校行事など、様々な面で制限を受けたことは残念でしたが、その中でも自分ができることに精一杯取り組み、結果としてこのような賞を頂けたことをとても嬉しく思います。僕はコロナ禍により増えた在宅時間で、読書や検定など、今まで疎遠だと思っていたものに取り組み、より充実した中学校生活を送ることができました。高校に行っても、辛い環境を理由に諦めたり、言い訳に使ったりするのではなく、今の自分に何ができるのか、今しかできないことは何かを考え、さらに高い目標を目指して頑張ります。三年間ありがとうございました。

毎日が喜び

芝浦工業大学柏中学高等学校校歌

小椋 佳
川辺 真
作曲 作詞
編曲 作曲

一、緑と実り 自然の恵み

抱かれて建つ 白い学び舎

出逢う友は皆 輝く太陽のかなた

無限の宇宙へ 挑む翼を磨く

伝統を築くものたち

新しい道を 拓くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

二、伸びやかな風 行く大津川

深い想いの 城址公園

集う友は皆 あふれる友情をかかえ

それぞれの夢に 熱い誓いを結ぶ

責任を果たすものたち

自由な心を抱くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

柏の青春 毎日が生きる喜び